

平成26年度

大阪市教育局「学校教育ICT活用事業」モデル校

公開授業・研究協議会 資料

平成26年11月14日（金）

大阪市立昭和中学校

参観者の皆さまへ

本日は、本校の公開授業にお越しいただき、ありがとうございます。

参観にあたって、次の点にご留意ください。

1. 授業も含めて、**校内の写真撮影・ビデオ撮影**は、次の点をお守りいただくことを前提に許可します。
 - 撮影した写真や動画は、個人または、所属する機関での研究目的にのみ使用すること。
 - 子どもや教職員が特定できる写真や動画を、ネット上にアップしないこと。これについては、いかなる理由があっても許可できません。
 - 授業風景を動画配信サイトなどにアップしないこと。
 - 教室内の作品についても、個人が特定される原因となりますので、同じ扱いとさせていただきます。

※ 撮影された被写体に係る肖像権に関しては、本人並びに本校に属しております。
注意事項に反し、または非社会的な目的に利用された場合は、法的な手段により取り下げを要求します。
2. 授業中にむやみに子どもに接近するなど、子どもの注意力を阻害するような行動はお控えください。
3. 教室はたいへん混み合います。入口付近に固まらず奥にお進みください。
4. 携帯電話はマナーモードにしてください。
5. 授業中、ICT 機器などが動作不良になった場合、指導者の判断で使用を中止し、授業をすすめる等もありますので、ご理解ください。
6. 休み時間等では、子ども達の動線にお心遣いください。

平成26年10月31日

各 校 園 長 様

大阪市立昭和中学校
校長 田 積 直 子

平成26年度 大阪市教育局「学校教育ICT活用事業」モデル校

公開授業・研究協議会のご案内(二次)

錦秋の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は本校の教育活動に何かとご理解・ご指導賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本校では次のとおり公開授業を実施いたします。校務何かとお忙しいとは存じますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 平成26年11月14日(金) 14時00分～17時00分
(受付 13時45分から)

- 2 会 場 大阪市立昭和中学校
大阪市阿倍野区桃ヶ池町2-3-17 電話 06-6621-0051
・地下鉄谷町線「田辺駅」下車 南西へ500m
・JR阪和線「南田辺駅」下車 北へ150m

3 時 程

13:45	14:00	14:50	15:10	17:00
受付	公開授業	移動休憩	全体会	
			研究協議	指導講評

4 教科・授業者

	1 組	2 組
1 年	保健体育 木元克哉・山田彩奈「柔道」	
2 年	美術 前川愛子「水墨画を楽しもう」	音楽 徳山有紀「伴奏を工夫しよう」
3 年	理科 奥上圭三「金星の動き」	数学 塚本一樹・井上昇 「あみだくじをつくろう!」

5 指導助言

- ・和歌山大学 准教授 豊田 充崇 先生
- ・関西学院大学 教授 佐藤 真 先生

6 参加申し込み(定員200名)

- ・本市教職員の方は、教育センターホームページより online でお申し込みください。
- ・本市教職員以外の方は、大阪市教育局のホームページをご参照のうえ、教育センターまでFAXにてお申し込みください。
- ・なお参観は教育関係者(教員・教育委員会関係)に限らせていただきます。

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☐ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☒ その他（武道場）
授業形態	☐ 講義形式 ☐ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☐ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導入 ☒ 展開 ☐ まとめ
ICT 活用者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☐ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☐ 自分の考えを表現する ☒ 学習の振り返り ☒ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☐ 電子黒板 ☐ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☒ その他（プロジェクター機能付きビデオカメラ）
活用コンテンツ	☐ 見本動画（自作） ☐ WebDAV Navigator ☐ 動画再生ソフト
ICT 活用のポイント	☐ 前回り受け身の基本動作を確認する 模造紙に見本の動画を投影し前回り受け身の正しい行い方や注意点を全体で確認させる。 ☐ 自分の課題を発見する 動画を撮影し、自分の受け身の様子を客観的に確認することで課題を見つけさせる。 ☐ 他者との伝えあい グループで協力して動画を撮影し、お互いにポイントができているか等を確認し、伝え合うことで協同学習を図る。 ☐ 課題を解決する 自分の動画と見本の動画を比較し、課題解決の方法を見つけ改善に向けた手掛かりにする。 ☐ データを共有する 撮影した動画の中からベスト動画をグループで決定し共有フォルダに提出することで指導者が確認できると同時に全体で共有する。

第1学年 保健体育科 学習指導案

授業者 木元 克哉
山田 彩奈

1 学年・組 1年 1・2組

2 単元名 武道「柔道」

3 目 標

- 柔道の特性や学び方に触れ、相手を尊重し励ましあい、よい面を認めあうなどして、柔道に親しみ積極的に練習に取り組もうとする。
- 柔道の技の習得に向けて、練習を工夫できる。
- あらゆる場面で受け身を取ることができる。相手の動きに応じ、基本となる技を用いて、抑え込んだりするなどの攻防を展開する技能を身に付ける。
- 柔道の特性や成り立ち、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解し、知識を身につける。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技 能	知識・理解
①柔道の学習に自主的に取り組もうとする。 ②相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ③互いに助け合い教えあおうとしている。 ④健康・安全に留意している。	①受け身の見本や説明、資料や支援機器を利用して自己の課題解決のために取り組んでいる。 ②課題を明確にして、仲間にアドバイスしている。 ③自己の技能・体力に応じた得意技を見つけている。	①基本動作のポイントをとらえて、学習を進めることができる ②相手の動きの変化に応じた基本動作から基本となる技、得意技ができる。 ③得意技を使って、攻防を楽しむことができる。	①武道の伝統的な考え方について、理解している。 ②技の名称や見取り稽古の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ③試合の行い方について、知っている。

5 指導計画（全11時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	オリエンテーション（柔道着の着方 礼法）	
2	礼法 受け身の導入	
3～4	受け身の練習（後ろ受け身 横受け身 ）	
5	前回り受け身の導入	
6	片膝立ちから前回り受け身の練習（本時）	iPad ビデオカメラ
7～10	前回り受け身の練習	iPad
11～13	柔道着の着方 礼法 受け身のテスト	iPad

6 本時の学習

(1) 目 標

- 前回り受け身の行い方のポイントを理解する。
- 自分や仲間の課題を見付け、解決に向けた手立てを考えたり、助言を行ったりすることができる。

(2) 展 開

	主な学習活動・指導上の留意点 (○は学習活動 ●は指導上の留意点を表す)	ICT活用のポイント	朝機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○集合、整列 ・四列横隊で武道場に集合整列する ●体育委員を中心に活動させる ○出欠確認 ・名前を呼ばれたら返事をする ・忘れ物の申告をする ●体育委員が並ばせる ●大きな声で返事をさせる ○黙想、座礼 ・体育委員の号令で挨拶する ●大きな声でメリハリのある発声をさせる ○準備（補強）運動 ・ラジオ体操第2 ・腕立て伏せ 20回 ・背筋 20回 ・腹筋 20回 ・フットワーク 20回 ●しっかり大きな声を出すように促す ●きちんと20回できるまで行わせる			【関心・意欲・態度】 ・武道場に入る時の挨拶がしっかりできる ・名前を呼ばれたら大きな声で返事ができる ・礼儀作法の意義を理解し実際にできる ・大きな声で挨拶ができる ・大きな声がでている ・メリハリのある体操ができている ・きちんと20回できている

展 開	○集合 ・四列縦隊で集合する ●体育委員を中心に活動させる ○本時の説明 ・本時の課題を確認する ●目的意識を高めさせる ●体育委員にカーテンを閉めさせる ○見本動画の確認 ・模造紙に映った見本の前回り受け身の動画を確認し、ポイントを把握する。 ●片膝立ちの姿勢から前回り受け身をすることを理解させる ●動画を一時停止し、LEDレーザーポインタでポイントを示し理解させる ●体育委員にカーテンを開けさせる ○グループ編成 ・クラス別男女混合3～4人班を作る ・1組前列、2組後列の八列横隊を作る ○前回り受け身の練習（1） ・前回の復習を兼ね、列ごとに前回り受け身をする ●一人2回前回り受け身をさせる ●畳は一人2枚使い安全に留意させる			【関心・意欲・態度】 ・整列時、緊張感がある ・説明時、しっかりとこちらを向いて話を聞いている 【思考・判断】 ・プロジェクター機能付きビデオカメラを活用することでポイントを理解できる 【知識・理解】 ・説明を理解している 【思考・判断】 ・活動内容について把握できる
	○前回り受け身の練習（1） ・前回の復習を兼ね、列ごとに前回り受け身をする ●一人2回前回り受け身をさせる ●畳は一人2枚使い安全に留意させる	・模造紙に投影された見本の動画を見てポイントを確認させる	プロジェクター機能付きビデオカメラ iPad	
	○撮影方法、共有フォルダへの提出方法について確認する ・iPadの置き場所、撮影方向やアングル、ローテーションの方法を知る ●見本の動画と同じ方向アングルから撮影すること、ローテーションの方法を理解させる ●共有フォルダへの提出方法について理解させる ●各グループ4列目の生徒に撮影用iPadを取りに行かせる	・見本の動画と同じ方向、アングルで撮影することを理解させる	iPad	【関心・意欲・態度】 ・素早く積極的に行動することができる 【技能】 ・ポイントを理解して、受け身をとることができる 【思考・判断】 ・活動内容について把握できる
	○前回り受け身練習（2） ・グループごとにiPadを使って交代で前回り受け身の動画を撮影する ●畳は一人2枚使い安全に留意させる ●一人2回前回り受け身をさせる ●グループで協力させる	・グループに分かれてiPadを使用し、グループごとに協力して撮影させる	iPad	【技能】 ・ポイントを理解して、受け身をとることができる
	○見本の動画と自分たちの動画の比較 ・グループごとに撮影した動画と手の動画を比較し、良い点、改善点を話し合う ・自分の改善点を発見する ●各グループ一人に見本の動画が入ったiPadを取りに行かせる ●グループで協力させる ●積極的に意見を出すよう促し言語活動の充実化を図る	・グループで集まり撮影した動画と見本の動画が入ったiPadを2台並べて比較し、話し合わせる ・一時停止やコマ送りを利用させ改善点を発見させる	iPad	【関心・意欲・態度】 ・グループで積極的に話し合いに参加している ・グループのメンバーに教えることができる ・自分の課題を持ちタブレットPCを活用しながら課題が解決できる

	○データの共有 ・グループの中のベスト前回り受け身を選出し、共有フォルダに提出する ●共有フォルダへの提出方法について理解させる ○集合 ・所定の場所に iPad を直す ・グループごとに集合する ●静かに座らせる ○前回り受け身練習（３） ・iPad で撮影した動画と見本の動画を比較して気がついた改善点に留意しながら練習する ・グループごとに順番に前回り受け身をする ●畳は一人２枚使い安全に留意させる ●修正点に留意しながら練習させる	・共有フォルダ提出することで指導者が後で確認できると同時にプロジェクター等に投影し全員で共有できる	iPad WebDAV Navigator	【知識・理解】 ・共有フォルダへの提出方法について理解している 【関心・意欲・態度】 ・整列時、緊張感がある 【技能】 ・修正点に留意し受け身ができる 【思考・判断】 ・周りの安全に留意しながら活動できる
まとめ	○集合 ・四列横隊で集合する ●体育委員を中心に活動させる ○まとめ ・iPad で撮影した自分の動画と見本の動画を見比べて気がついたところを発表する ●iPad を使用することによって気が改善点について発表させる ●iPad で自分の動画を撮影、確認し気がついたところを踏まえて再度練習した効果について発表させる ○次時の予告 ○黙想、座礼 ・体育委員の号令で挨拶する ●大きな声でメリハリのある発声をさせる			【関心・意欲・態度】 ・整列時、緊張感がある 【関心・意欲・態度】 ・前を向いて話を聞いている 【知識・理解】 ・プロジェクター機能付きビデオカメラ、iPad を活用した目的について理解できる 【関心・意欲・態度】 ・大きな声で挨拶ができる ・礼儀作法の意義を理解し実際にできる ・大きな声で挨拶ができる

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☐ 普通教室 ☒ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☐ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☐ 導入 ☒ 展開 ☒ まとめ
ICT 活用者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☐ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☒ 自分の考えをまとめる ☐ グループの考えをまとめる ☐ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☐ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☒ 記録(写真・動画等) ☒ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	☐ カメラ機能 ☐ 鳥獣人物戯画アプリ ☐ 教育系 SNS (Schoolology) ☐ デジタルノート (MetaMoji Note)
ICT 活用のポイント	☐ 水墨画の作品として表現したものをタブレットPCによって友人の水墨画も取り込み関わりを持たせた1つの作品に仕上げる。 ☐ 作品についての説明や感想を教育系 SNS へ入力しクラス全体で交流できるようにする。

第2学年 美術科 学習指導案

授業者 前川 愛子

1 学年・組 2年 1組

2 単元名 水墨画を楽しもう

3 目標

- ☐ 水墨画に親しむ
- ☐ 鳥獣人物戯画に代表される絵巻物は横長の形で流れ、時間の推移を表現したもので、現代のアニメーションのもとになると考えられている。鑑賞する側も時間や空間の移り変わりを楽しく味わいたい。
- ☐ 2年になり、自分の良いところを表現しようと自画像を描き、また自分とは違うが心の奥に持っている新しい顔を見せる仮面を制作した。そして、最後に今の自分を動物に例えれば何かと考え、水墨画で表現する。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・墨で描く、白と黒の世界に興味を持つ。自ら描くことに意欲的に取り組み表現方法の特性を活かした作品を作ろうとしている。	・自分を客観的に見ることと新たな発見をし、感じたことなど心の世界を新しい題材で表現しようとしている。	・墨を使って表現したいものを描くことができる。 ・作品の中で仲間と関わりを持ち ICT 機器を使い意図に沿った表現方法を工夫することができる。	・絵巻物という美術文化をよく理解した上で感性と想像力を働かせ、お互いの作品がひとつのものになり作品となる楽しさを味わう。

5 指導計画（全7時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1 ・ 2	・水墨画を鑑賞する。 ・水墨画の基本を説明し、運筆練習をする。	iPad 電子黒板
3	・iPad を使って、自分自身を例える動物の画像を調べ、参考にスケッチをする。	iPad 電子黒板
4 ・ 5	・前時のスケッチをもとに、水墨画を描く。 ・班の人の水墨画を iPad で撮影する。	
6 本 時	・撮影した水墨画をひとつの作品に構成する。 ・デジタルノートで背景を描き加える。 ・作品についての解説や感想を教育系 SNS へ入力する。	iPad 電子黒板
7	・完成した作品を電子黒板へ投影し、全員で鑑賞し意見を交換する。	iPad 電子黒板

6 本時の学習

(1) 目 標

○動物に自分自身を例えて、水墨画の作品として表現したものを iPad によって友人の水墨画も取り込み、関わりを持たせた 1 つの作品に仕上げる。

○自分の作品に対する思いを説明することができる。

(2) 展 開

	主な学習活動	ICT 活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○班の形ではじめる。 ○iPad を用意する。 ○本時の作業内容を説明する。		iPad 電子黒板	【関心・意欲・態度】 iPad を利用して絵を割り込ませたり、説明することに意欲を持って取り組もうとしている。
展 開	○撮影した水墨画をデジタルノートを利用して、考えた場面設定に沿って、適切な大きさ、位置を考え一つの作品に構成する。 ○場面に必要な背景はデジタルノートで描き加える。 ○自分の作品の意図や思い、また、作品を作った感想を教育系 SNS へ入力する。	・撮影した水墨画をデジタルノートを利用し、考えた場面設定に沿ってレイアウト、背景も描き加える。 ・教育系 SNS の 2 年 1 組美術コース内「水墨画」へ作品の意図や思い、感想を入力する。	iPad デジタルノート 教育系 SNS	【発想や構想の能力】 イメージを膨らませ、お互いの絵に関わりを持たせた場面を構想できる。 【創造的な技能】 場面をよく理解したうえで、適切な場所・大きさ、位置を決め、背景を描くことができる。

まとめ	○各自の作品が仲間との関わりを持って魅力的な構成ができたか。また、描いたものについて、ことばで説明することはできたかを自己評価する。 ○自分で描いた水墨画とタブレットPCで描き加えた線のちがいを認識し、今後の制作に活用していく。 ○次時で全員の作品を鑑賞することを伝える。			【関心・意欲・態度】 自分の作品を振り返り、どのような表現、工夫ができているかを示せる。 タブレットPCの機能を活用し楽しく制作することに関心を持てる。
------------	---	--	--	---

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☐ 普通教室 ☒ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☐ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☒ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導入 ☒ 展開 ☐ まとめ
ICT 活用者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活用機器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	○ 音楽制作アプリ (GarageBand)
ICT 活用のポイント	○音楽制作アプリを活用し、和音を体感する ○ひとり一台体制のもと、試行錯誤しながら他者とも関わりながら創作できる ○完成した楽曲を共有できる

第2学年 音楽科 学習指導案

授業者 徳山 有紀

1 学年・組 2 年 2 組

2 単 元 名 曲の構成を生かした伴奏の工夫

3 目 標

- 和音の構成音を理解するとともに、曲想を生かした伴奏を工夫する。
- アンサンブル表現につなげていくために自分の役割を理解し、お互いに協力し合いながら楽曲を作り上げていく態度を育てる。
- 他のグループの楽曲を鑑賞し、その作品の良さや工夫を発見する。

4 単元の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽に親しみ、音や音楽に対する関心もち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。

5 指導計画（全 5 時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	「大きな古時計」のリコーダー練習 和音の構成音の理解 音楽制作アプリの基本操作の習得	iPad 電子黒板
2	へ長調の和音の理解 「大きな古時計」の伴奏（和音進行）を 考え編曲する（本時）	iPad 電子黒板
3	「大きな古時計」の伴奏（楽器音、リズム パターン）を考え、編曲を完成させる	iPad
4	アンサンブル練習 （各グループでセッションをし、録音、 再生をくり返し、よりよい演奏を目指す）	iPad
5	演奏会・相互評価	iPad

6 本時の学習

(1) 目 標

- へ長調の持つ和音を理解する。
- 「大きな古時計」の和音の進行をグループで協力しながら考え、楽曲を編曲する。

(2) 展 開

	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○「大きな古時計」をアルトリコー ダーで吹く。 ○前回取り組んだことを確認。		iPad 音 楽 制 作 アプリ	【 技能 】 ・アルトリコーダー で吹けている 【関心・意欲・態度】 ・和音、コード名、 音楽制作アプリの 機能を理解してい る。
展 開	○へ長調の和音を理解する。 ○音楽制作アプリのへ長調の和 音の構成音を理解する。 ○見本で「大きな古時計」のはじ めの4小節の和音のつけ方を 提示する。 ○グループに分かれてどんなイ メージで演奏するか決め、それ に沿った伴奏（和音の進行）を 考える。	音楽制作アプリのコード を変更 電子黒板に指導者用タ ブレットPCの画面を映 して説明 個人で音楽制作アプリ を利用して和音進行を 考える グループで編曲する	電子黒板 iPad 音 楽 制 作 アプリ	【 創意工夫 】 ・へ長調の和音を理 解している ・和音の構成音を理 解している ・グループの話し合 いに積極的に参加 している。 ・和音の進行を考え ようとする。 ・他のグループに配 慮しつつ、自分たち のグループの課題 に積極的に取り組 めている。

まとめ	○シートに進度を記入し、今日の振り返りをする。 ○次回の課題を伝える。			【関心・意欲・態度】 ・進度の記入と振り返り、課題を理解できている。
-----	--	--	--	---------------------------------------

2年音楽  みんなでアレンジャー！！

まずは GarageBand をラップ

Keyboard, Drums, Guitar Amp, Audio Recorder, Sampler, SmartDrums, Smart Strings, Smart Bass, Smart Keyboard, Smart Guitar はスクロールで選択

○メロディを奏する

Keyboard をラップ
☆鍵盤の幅が狭い時
鍵盤の右端にある2段鍵盤マークをタップし1段鍵盤マークと幅広鍵盤を選択する

☆キーの高さを低くしたい時
鍵盤の中央上にある *Glissando* を *Scroll* にして自分の好きなキーに合わせて再度 *Glissando* にする。(a2 から 49 が必要なキー)

○伴奏を奏する

Smart Keyboard をラップ
レンチマーク  をタップ
キーをFボジャにする
「コードを演奏」をタップして右から2番目の5kを選択、[C Maj 7 なし] にして完了

Autopilotで好みの伴奏パターンを選ぶこともできる(1~4)

○My Songsにある「大きな古時計」を使うとき

My Songsをタップ
①「大きな古時計」を選択してコピーをする
②コピーされたものを選び、黄色マイクマークの隣のマークをタップ
③右下の+マークをタップして楽譜を添える
④再生マークを押せば演奏が始まる
⑤終わる時はMy Songsをタップ、+マークではじめの曲目に戻る

2年音楽  和音とコードネーム

2年 組 番号

○ハ長調



和音 () () () () () () () () () ()
コードネーム () () () () () () () () () ()

○ヘ長調



和音 () () () () () () () () () ()
コードネーム () () () () () () () () () ()

★伴奏をつけるときの注意

- ①はじめは(I) の和音
- ②終わりと終わる感じは(I) の和音
- ③続く感じは(V) or (V I) の和音
- ④出番三和音だけでも大丈夫→(I) の和音、(IV) の和音、(V) の和音
- ⑤VIIの和音は使わない

★アンサンブルのパートについて

- ①主役陣→1人(アルトリコーダー or GarageBand の Keyboard)
- ②伴奏→2人(GarageBand の SmartDrums, Smart Strings, Smart Bass, Smart Keyboard 等から選ぶ)
- ③グループ内で同じことをする人がないようにする

2年 音楽「大きな古時計」ワークシート

2年 組 番名前

課題

1. 「大きな古時計」をアルトリコーダーで弾く
2. ハ長調の和音を理解する
3. ヘ長調の和音を理解する
4. 「大きな古時計」のアレンジのイメージを考える
5. 「大きな古時計」の和音の進行を考える
6. 楽譜音、リズム/パターン考え、合わせていく
7. グループで合わせる練習
8. 発表
9. 相互評価



活動記録

日	課題	自己評価	できたこと・振り返り・次の課題など

A→80%以上、B→60%以上、C→40%以上、D→40%以下

既に決定したアレンジのイメージ

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☒ 講義形式 ☒ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☐ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☐ まとめ
I C T 活 用 者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☒ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☒ 学習内容を調べる ☐ 自分の考えを表現する ☒ 学習の振り返り ☒ 記録(写真・動画等) ☒ プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☒ その他 (AppleTV)
活用コンテンツ	OGoSkyWatchP（天体シミュレーション） Oロイロノート（プレゼンテーション作成アプリ） Oデジタル教科書
ICT 活用のポイント	O星座の星と金星の運動を実際の観測に近く視覚的にとらえる。 O画像のアニメーション化により、星の運動を連続的にとらえる。

第3学年 理科 学習指導案

授業者 奥上 圭三

1 学年・組 3年 1組

2 単 元 名 地球と宇宙（第2章 太陽系の天体 2金星の見え方）

3 目 標

○太陽系の天体の特徴を知るとともに、惑星の動きや見え方、月の満ち欠けと日食・月食について理解する。

○惑星は、太陽や星座の星とは異なった動きをし、望遠鏡での見え方にも特徴があることを理解する。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	科学的な考え方	実験の技能	知識・理解
・金星の見え方の特徴に関心を持ち、その原因を調べようとする。	・金星が星座の星の間を動いていくように見えるのは、地球と金星の公転周期の違いによって起ることを捉えることができる。	・天体シミュレーションアプリを活用し、金星の運動を観察し、結果を記録することができる。	・金星が星座の星とは違う動き方をすることを知る。 ・金星の特徴的な運動が地球と金星の公転によることを理解する。

5 指導計画（全 7時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1 ～ 2	太陽系の天体の特徴について、資料をもとに調べたり、発表する。	デジタル教科書の資料などを電子黒板で提示。
3 ～ 5	金星と星座の星の見え方の違いを調べ、その原因を考える。 金星の満ち欠けや見える時刻・方向についての特徴を知り、その原因を考える。 (3:本時)	タブレットPC（天体シミュレーションアプリ・プレゼンテーション作成アプリ）を活用し実習。 デジタル教科書の資料などを電子黒板で提示。
6 ～ 7	月の満ち欠けや月食・日食と地球・月・太陽の位置関係との関連を知り、原因を考える。	デジタル教科書の資料などを電子黒板で提示。

6 本時の学習

(1) 目 標

実習をとおして天体観測を疑似的に体験し金星と星座の星の動きの違いを知るとともに、その原因を考える。

(2) 展 開

	主な学習活動	I C T活用のポイント	使用機器・コンテンツ	評価の観点
導 入	○地球のほか惑星が太陽の周りを公転していることを振り返る。 ○惑星も見かけは星座の星のように見えていることを知る。 ○日がたつにつれ、星座の星と金星の見え方に違いがあるのか、疑問を持つ。	・ デジタル教科書で図 42・53・54 を提示。	電子黒板 デジタル教科書	【関心・意欲・態度】 金星と星座の星の動きの違いに興味を持ち、調べてみようとする意欲が持てた。
展 開	○実習の説明を聞く。 ・ iPad で GoSkyWatchP を利用し、金星の位置を確認する。 ・ 日時設定を変えながら、5 日ごとの空のようすを疑似的に観測し写真で記録する。 ・ 撮りためた写真をロイロノートで連続させ、アニメーション化する。 ・ 班ごとに分担した結果を見せ合い、金星と星座の星の動きの違いを話し合い、ワークシートに記録する。 ○結果を発表し、まとめる。 ・ いくつかの班のアニメーションを提示し、どのようにワークシート上で図にしたか発表する。	・ iPad で GoSkyWatchP ロイロノートを活用し、金星と星座の星の動きの違いをアニメーション化する。 ・ 電子黒板へ画面を送り結果を発表する。	iPad（各自 1 台） GoSkyWatchP ロイロノート 電子黒板 AppleTV	【実験・観察の技能】 ソフトを正しく操作し、金星と星座の星の動きの違いをアニメーション化できる。 金星と星座の星の動きの違いを図に表わすことができる。 【知識・理解】 金星と星座の星の動きの違いを知ることができた。

ま と め	○金星と星座の星の動きに違いがあることを確かめる。 ○その原因を図 55 から考え、説明する。	・デジタル教科書で 図 42・54・55 を提示。	電子黒板 デジタル教科書	【科学的思考】 金星と星座の星の動きの違いの原因を図 55 をもとに考えようとする。
-------------	---	--------------------------------------	-------------------------	---

実習6 金星と星座の星の動きのちがいを調べよう

◎ Go Sky Watch P を使って

- ① 西の地平線方向を見る。
- ② 日時を2013年5月5日PM7時に設定する。
- ③ 惑星のアイコン→金星 で金星をマークする。
- ④ 4人で分担し、5月5日から12月30日まで、5日ごとの空のようすを表示させ、スクリーンショットで記録する。

A	5月5・10・15・20・25・30日
	6月5・10・15・20・25・30日
B	7月5・10・15・20・25・30日
	8月5・10・15・20・25・30日
C	9月5・10・15・20・25・30日
	10月5・10・15・20・25・30日
D	11月5・10・15・20・25・30日
	12月5・10・15・20・25・30日

時刻はすべてPM7時

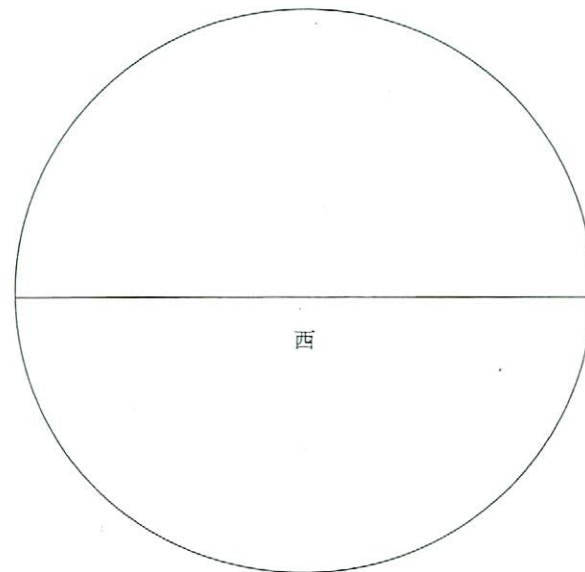
◎ ロイロノートを使って

- ⑤ 新しいノートを作る→入力→次へ→完了→すべての写真→カメラロール
写真を選び→使用する
- ⑥ 選んだ写真を順番に並べ、つないでいく。
- ⑦ 1番目の写真をタップ→時間（5秒）を1秒に変更→次の写真をタップ
（以下くりかえし）
- ⑧ 全画面にしてスタートすると、アニメーション化される。
- ⑨ A・B・C・Dを連続させてみてみよう。

【結果とまとめ】

- ・金星と星座の星の動き方のちがいについてグループで話し合い、図にまとめてみよう。
- ・なぜ、動き方がちがうのか、教科書のP48の図42やP54の図55を参考に、グループで話し合い、まとめてみよう。

金星と星座の星の動き方のちがい



なぜちがうのだろう？

大阪市立昭和中学校

《ICT の活用》

授業の場所	☒ 普通教室 ☐ 特別教室 ☐ 体育館 ☐ 運動場 ☐ その他（ ）
授業形態	☐ 講義形式 ☐ 一斉学習 ☒ グループ学習 ☐ 個別学習
ICT 活用の場面	☒ 導 入 ☒ 展 開 ☐ まとめ
I C T 活 用 者	☒ 指導者 ☒ 児童・生徒 ☐ その他（ ）
ICT 活用の目的	☒ 資料の提示(指導者) ☐ 資料の提示(学習者) ☐ 自分の考えをまとめる ☒ グループの考えをまとめる ☒ 他者との考えの比較・交流 ☐ 学習内容を調べる ☒ 自分の考えを表現する ☐ 学習の振り返り ☐ 記録(写真・動画等) ☐ プレゼンテーション等の作成
活 用 機 器	☒ 電子黒板 ☒ 指導者用タブレット端末(win・iPad) ☒ 児童・生徒用(win・iPad) ☐ その他（ ）
活用コンテンツ	OMetaMoji Note OWebDAV Navigator
ICT 活用のポイント	○教材の提示 ○iPad を使って試行錯誤しながら考える ○iPad を使って課題を考え効率よく自分の考えを発表する。

第3学年 数学科 学習指導案

授業者 塚本 一樹
井上 昇

1 学年・組 3年 2組

2 単 元 名 「あみだくじを作ろう」

3 目 標

- 課題学習を通して、各領域の内容を総合したり日常の事象や他教科等での学習に関連づけたりすることで、生徒の数学的活動への取組を促し、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。
- 「あみだくじ」という身の回りにある事象を数理的に考察し、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感する。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技 能	知識・理解
数学的な事象に関心を持ち、「あみだくじ」に意欲的にとりくむとともに、話し合いに積極的に参加し、解決しようとする。	「あみだくじ」を数学的にとらえて論理的に考察したり、その過程を振り返り考えを深めるなど、数学的な見方や考え方を身につけている。	目的に応じて「あみだくじ」に横線を入れるなど、事象を数学的に捉え適切に処理する技能を身につけている。	「あみだくじ」の基本的なことや仕組み、横線の働きについて理解する。

5 指導計画（全 1 時間）

時	主 な 指 導 内 容	ICT 機器
1	自分が思い描いた「あみだくじ」を作ること を考える。	iPad 電子黒板

6 本時の学習

(1) 目 標

○課題に興味を持ち、自分なりの予想をたて、積極的に取り組もうとする。

○自分が思い描いた「あみだくじ」を作ることができる。

(2) 展 開

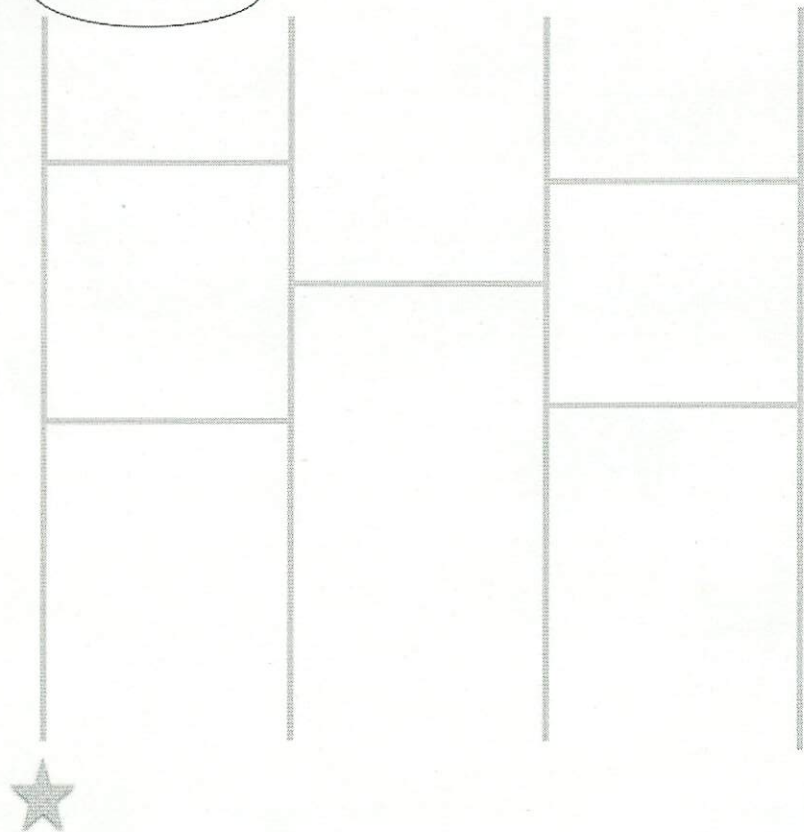
	主な学習活動	ICT活用のポイント	使用機器・コンテ ンツ	評価の観点
導 入	○5人の人がいて5つの寿司ネタのどれを食べるか決めるとき、どんな方法があるか考える。 ○「あみだくじ」の由来について学ぶ。 ○簡単な「あみだくじ」をiPadを使って実際に動かしている様子をみる。	・iPadにあるプリントを掲示し、説明を加える。 ・「あみだくじ」のスタートを数字で書くだけではなく、アニメーションで実際に動かすことで、興味関心を引き想像しやすくする。	電子黒板 iPad	【知識・理解】 「あみだくじ」の基本的なことを理解する。 【関心・意欲・態度】 「あみだくじ」について、興味をもって考えることができる。
展 開	○「あみだくじ」に一本の横線を入れて、ゴールにたどり着こう」をiPadを使って考える。 ○班になって、他のメンバーと相談しながら意見をまとめていく。 ○なぜ、そこに横線を入れたのか考え発表する。 ○2つの「あみだくじ」が交わるところに横線を入れることで、行き先がどうなるか考える。 ○「5人全員が好きな寿司ネタを食べよう」をiPadを使って考える。 ○班になって、他のメンバーと相談しながら意見をまとめていく。 ○早く解けた班は、「8人全員が好きな寿司ネタを食べよう」をiPadを使って考える	・「あみだくじ」をなぞるとき、線を書くと、何度も消したり書いたりしながら試行錯誤することができる。 ・iPadを使って、自分の考えを他のメンバーに説明する。 他のメンバーの意見を参考に考えを再構成する。 ・自分の班の考えを電子黒板に移し出して、他の班のメンバーに説明する。	電子黒板 iPad	【関心・意欲・態度】 「あみだくじ」について、興味をもち、一本の横線をどこに入れるとゴールにたどり着くか考える。 【技能】 目的に応じて「あみだくじ」に横線を入れることができる。 【数学的な考え方】 「あみだくじ」を、数学的な見方や考え方で捉えて論理的に考察することができる。

	○どのようにして5人全員が思い通りの行き先に向かう「あみだくじ」を作ることができるか考え、発表する。 ○先生の「5人全員が好きな寿司ネタを食べよう」の実演を黒板で見て、どうしてそんな計算をして、「あみだくじ」の横線を入れる位置を決めているのか考える。 ○「あみだくじ」に横線を入れることの仕組みを理解し、機械的に計算をすることでどこに横線を入れればいいのかわかることを学ぶ。 ○「5人全員が好きな寿司ネタを食べよう②」を「あみだくじ」に横線を入れることの仕組みを用いて、機械的に計算してみる。	・ iPadにあるプリントを掲示し、説明を加える。	【知識・理解】 「あみだくじ」に横線を入れることの仕組みを理解する。 【技能】 目的に応じて「あみだくじ」に横線を入れることができる。
まとめ	○「あみだくじ」という、身の回りにある事象が数学に関係していることを知り、数学的活動の楽しさや、数学のよさを知る。 ○他にも日常生活に数学がどのような形で用いられているか考える。		【数学的な考え方】 普段何気なくみているものを数学的な見方や考え方で捉えることができる。

どこかに1本だけ線をいれてゴールに辿り着こう！



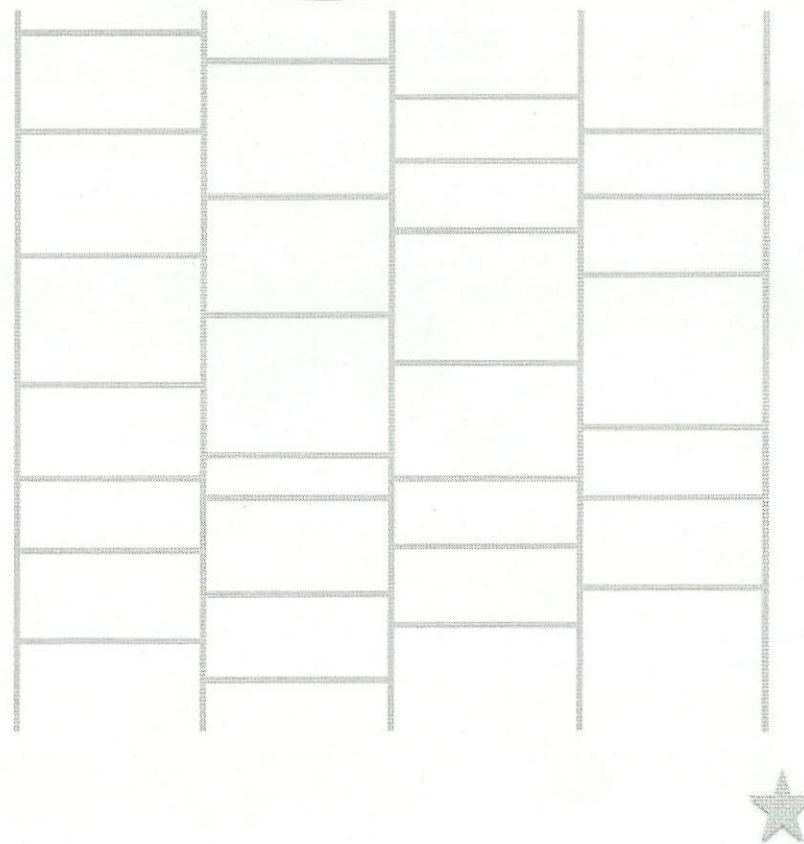
ゴールしたいな 😊



どこかに1本だけ線をいれてゴールに辿り着こう！



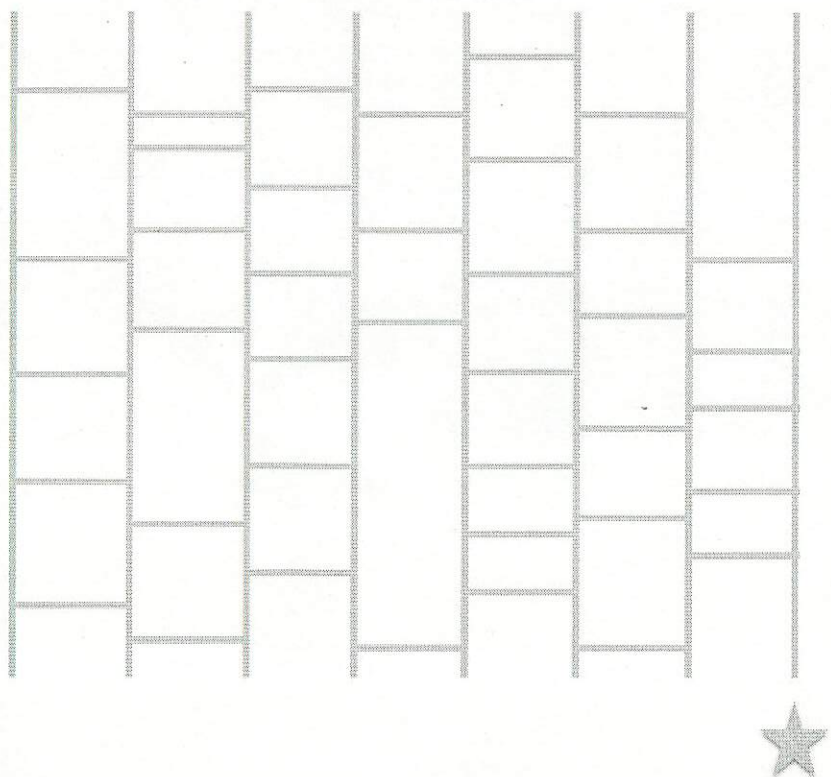
ゴールしたいな 😊



どこかに1本だけ線をいれてゴールに辿り着こう！



ゴールしたいな 😊



5人全員が好きな寿司ネタを食べられるように
あみだくじを作ってみよう！

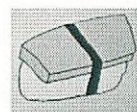
イクラ ♥

トロ ♥

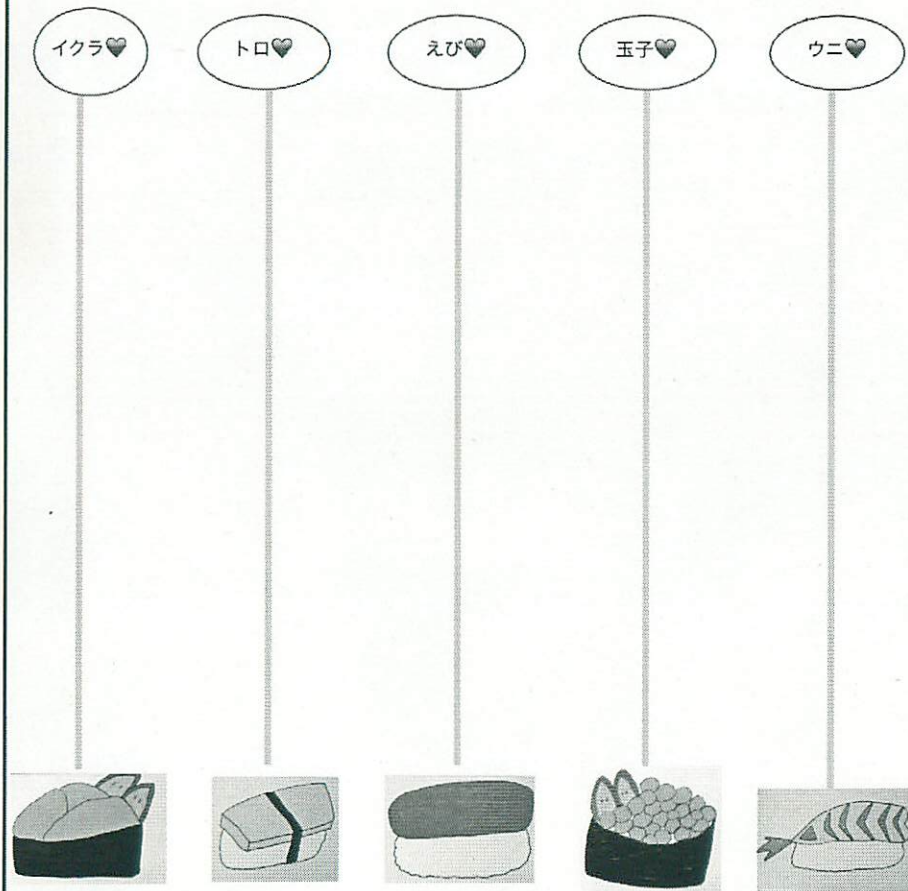
えび ♥

玉子 ♥

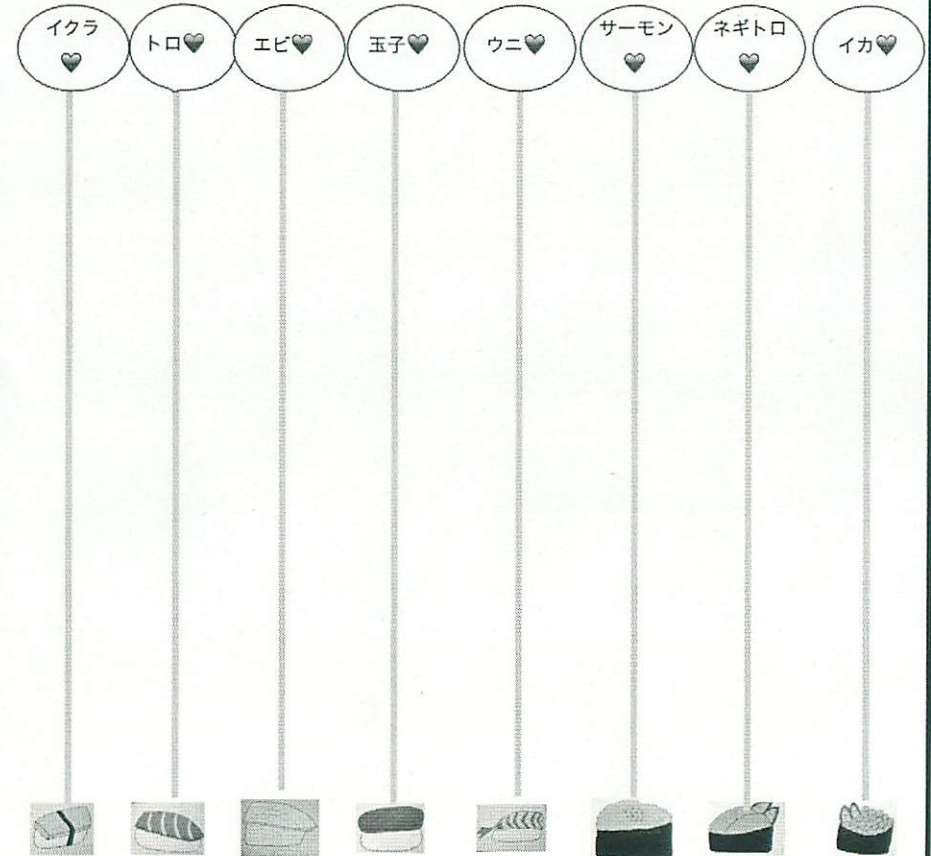
ウニ ♥



5人全員が好きな寿司ネタを食べられるように
あみだくじを作ってみよう！



8人全員が好きな寿司ネタを食べられるように
あみだくじを作ってみよう！



<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j712600>
学校日記

おおさかしりつしょうわちゅうがっこう
サイトマップ

大阪市立昭和中学校
サイト内検索
検索
2014/02/10 10:14 更新

[トップページ](#)
[学校概要](#)
[配布文書](#)
[行事予定](#)
[学校日記](#)
[研究報告](#)
[昭中トリセツ](#)
[年間行事予定表](#)

現在位置: [トップページ](#) > [学校日記](#)

★ カテゴリ

● TOP

[お知らせ](#)
[新着情報](#)
[学校元気アップ事業](#)

★ 最新の更新

[3年生私立高校入試](#)
[1・2年生実力テスト](#)
[立春](#)
[新入生保護者説明会](#)
[1年校外学習…アイスケート5](#)
[1年校外学習…アイスケート4](#)
[1年校外学習…アイスケート3](#)
[2年…キャリア教育9](#)
[2年…キャリア教育8](#)
[2年…キャリア教育7](#)
[2年…キャリア教育6](#)
[2年…キャリア教育5](#)
[2年…キャリア教育4](#)
[2年…キャリア教育3](#)
[2年…キャリア教育2](#)

★ 過去の記事

[2月](#)
[1月](#)
[12月](#)
[11月](#)
[10月](#)
[9月](#)
[8月](#)
[7月](#)
[6月](#)
[5月](#)
[2013年度](#)

★ 3年生私立高校入試

3年生は、本日10日(一部は11日)に大阪府の私立高校の入試があり、多くの生徒が朝から受験に出かけています。そのため、ひとつの教室はがらんとしています。全力を出しきって頑張っています。



★ 1・2年生実力テスト

2月5日～7日、3日間の学年休業を終え、本日は1・2年生の実力テストを実施しました。今日も大変な冷え込みで、皆さんの体調が心配でしたが、大多数の生徒が奮闘してきました。まだ、治っていない人も若干います。早く完治して全員が元気に頑張って欲しいです。

明日は建国記念の日で学校は休みです。明日日は、延期になったマラソン大会前の校影があります。

【1年生のテスト風景】

【2年生のテスト風景】

★ 立春

本日は立春です。先週から暖かい日が続いていましたが、今日からまた気温が下がります。けれど、春は確実に近づいています。玄関の紅梅も咲き始めました。

昨日から、かぜ引き症状の生徒がふえていましたが、本日は1・2年生とも非常に欠席が多いので、別紙の通りの措置をとりました。ご家庭でもご協力をお願いします。

かぜ様疾患による学年休業について




★ 新入生保護者説明会

2月3日、本校の新入生保護者説明会にあべのんがやってきました。受付で4月2日に入学する本校第70期生の保護者を出迎えました。説明会では、学校長のあいさつ、坂根教務主任より入学式までの準備について、西生徒指導主事より生活指導に関して、推進事務職員より教職会等について、教頭より給食等について話しました。昭和中学校教職員一同、新入生の入学を楽しみにしています。




★ アクセス統計

本日:22 | 昨日:41
 今年度:8876
 総数:8876

★ アクセスバリエーション

文字: 大きく | 小さく | 標準
 配色: 通常 | 白地 | 黒地

◀ 2014年2月 ▶

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

★ 行事予定

[月間行事予定](#)
[年間行事予定](#)

★ 配布文書

[配布文書一覧](#)
[学校だより](#)
[1月号](#)
[学校評価アンケート](#)
[生徒・保護者アンケート結果\(平成25年度\)](#)
[トリセツ](#)
[昭和中学校のトリセツ\(0423年度版\)](#)

★ 研究

[「生きる力」を育む教科授業をめざして](#)
[情報機器とネットワークを活用した道徳学習](#)
[学力向上に資する情報機器活用の方](#)
[ICT機器を活用した情報活用能力の育成](#)
[学校教育ICT活用事業](#)
[研究発表会_資料2](#)
[研究発表会_資料1](#)
[非常災害時の対応について](#)
[非常災害時の対応について](#)
[平成25年度 学校評価](#)
[昭和中学校 25年度自己評価](#)
[全国学力・学習状況調査](#)
[平成25年度「全国学力・学習状況調査」における昭和中学校の結果の分析と今後の取組について](#)
[平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート](#)

★ 携帯サイト



<http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/j712600/2/b/107957.pdf>

大阪市立昭和中学校のホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j712600>

